

令和5年度以降に取り組む事業の検討について

- 検討方法
- ① 「令和5年度重点的な取組み」の検討【第1、2回PT】
 - ・KPIの達成に向けた令和5年度の重点的な取組みを検討(県事業、制度見直し、民間主体のプロジェクトなど)
 - 令和5年度アクションプランへ発展(令和5年度に実行が難しいものは、令和6年度以降の検討課題として整理)
 - ② 令和5年度アクションプラン(案)のとりまとめ【第3、4回PT】
 - ・①の重点的な取組みを具体化するための事業とその他の関連事業を併せて、令和5年度アクションプランをとりまとめ

戦略	KPI	I. 令和5年度重点的な取組み					II. 令和5年度アクションプラン(案)とりまとめ				
		A.KPI達成に向けた重点施策分野	B.現状分析 (富山県の課題・魅力・強み、 既存施策など)	C.施策の目指すべき方向性	D.重点的な取組み	E. 取組主体	F.事業分析 (事業・制度の必要性等)	G.R5アクションプラン(案)			H. 事業目標
								重点事業	概要	県予算額	
(1)ウェルビーイング戦略	・県民へのウェルビーイング周知やその向上に向けた具体的な取組みの促進を通じ、県民のウェルビーイングが持続的に向上していく「ウェルビーイング先進地域」を創出	①県民のウェルビーイングの向上、多様性の促進	県では、R4にウェルビーイング調査・普及啓発事業により指標の策定、普及啓発を進めている。R5は、ウェルビーイングの普及啓発を進めつつ、向上につながるアクションを促進していく必要がある。	県民のウェルビーイング自体への理解や向上のための取組みを推進する。			〇〇事業				
		②女性のウェルビーイングの向上、働き方改革・ワークインライフの推進	本県は、女性の就業率や正社員割合は高く、女性が働き続けやすい環境がと整っている一方、女性の管理職割合は全国下位で、意思決定の場への女性の参画が進んでいない。また、育児休業取得率は女性が全国平均を上回る一方、男性は下回るなど、家庭の負担が女性に偏っている状況が伺える。このため、R4年3月に女性活躍推進戦略を策定し、性別に関わらず一人ひとりが社会においても家庭においても活躍でき、ウェルビーイングを実感できるよう、施策を展開しているところ。	多くの女性の声を取り入れた政策作りや、男性の家事・育児への更なる参画など、女性が活躍できる環境づくりと働き方改革を一層促進する。				〇〇制度の見直し			